

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーエムエス

コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理

(氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,009	5.7	483	55.1	440	52.9	202	85.6
23年3月期第3四半期	12,305	△1.8	311	6.4	288	8.8	108	△36.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 204百万円 (108.1%) 23年3月期第3四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	34.71	—
23年3月期第3四半期	18.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,431	6,447	51.9
23年3月期	12,469	6,310	50.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,447百万円 23年3月期 6,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	4.7	475	9.9	410	5.3	205	18.8	35.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	7,262,020 株	23年3月期	7,262,020 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,438,491 株	23年3月期	1,438,491 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	5,823,529 株	23年3月期3Q	5,823,529 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、経済情勢、市場動向等に係わるリスクや不確実性により、実際の業績はこれら予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生以降、弱い動きを見せていた個人消費や設備投資などに改善の兆しが見られたことに加え、復興需要の増加もあり、夏場にかけて回復傾向が見られましたが、その後急激な円高が発生したことや欧州債務問題の深刻化などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした環境を反映し、震災直後には販売促進企画の中止や延期といった動きにより一時的な落ち込みがあったものの、その後は回復の兆しをみせ、ほぼ前年並みの水準を維持する状況となりました。

このようななか当社は、新規顧客開拓を積極的に展開するとともに、宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたメーリングサービス業務の内製化を推進し、周辺業務領域の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、130億9百万円（前年同期比7億4百万円増）となりました。連結営業利益は4億83百万円（同1億71百万円増）となりました。これは増収効果や生産現場における固定費低減により売上総利益が前年に比べて1億24百万円増加したことと、事業所集約化などにより販売管理費が47百万円減少したことによるものです。連結経常利益は、営業外収益が18百万円（同583千円減）、営業外費用が61百万円（同18百万円増）となった結果、4億40百万円（同1億52百万円増）となりました。連結四半期純利益は、特別損益において保有株式の評価損43百万円、さらに税金費用を1億98百万円としたことなどにより2億2百万円（同93百万円増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、顧客企業における業務委託先の見直しに伴う引合いや震災の影響で延期されていた販促活動の再開需要を順調に取り込めたため、売上高は118億73百万円（同6.5%増）、セグメント利益は8億50百万円（同21.8%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努め、顧客のバックオフィス業務に対する需要を順調に取り込んだことで、売上高は8億81百万円（同7.8%増）となりました。また、セグメント利益は増収効果と固定費の抑制が奏功して1億3百万円（同34.4%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力しましたが、東日本大震災の影響により上期に予定しておりましたイベントが中止や縮小となったことなどにより、売上高は2億17百万円（同31.5%減）、セグメント損失は11百万円（前年同期セグメント損失225千円）となりました。

④賃貸部門

前期に竣工した千代田小川町クロススタビル（東京都千代田区）は、当第3四半期に入って全室成約いたしました。このため、売上高は25百万円（同158.3%増）となりましたが、期中における成約のため、収支はセグメント損失18百万円（前年同期セグメント利益6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が1億29百万円、仕掛品が82百万円増加しましたが、売上債権が76百万円減少したことなどにより、全体として45億84百万円（前連結会計年度末比1億81百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、投資有価証券の評価替え等による41百万円の減少や有形固定資産および無形固定資産が減価償却等の理由から1億57百万円減少したことなどにより、全体として78億31百万円（同2億16百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が16百万円（同2百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、124億31百万円（同37百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が1億6百万円、賞与引当金が

1億8百万円減少する一方、未払消費税が92百万円、未払法人税等が97百万円、前受金が62百万円それぞれ増加したことなどにより、全体として28億21百万円（同49百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が67百万円、長期借入金が2億51百万円減少する一方、長期リース債務が45百万円増加したことなどにより、全体として31億62百万円（同2億23百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、59億84百万円（同1億74百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金においては連結四半期純利益2億2百万円から配当87百万円などを差引いた結果、前連結会計年度末に比べて1億34百万円増加となりました。その結果、全体として64億47百万円（同1億36百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月31日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,253,640	1,382,895
受取手形及び売掛金	2,420,128	2,344,061
仕掛品	242,550	325,128
立替郵送料	83,061	140,867
繰延税金資産	187,658	114,628
その他	216,276	277,018
貸倒引当金	△261	△269
流動資産合計	4,403,054	4,584,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,104,315	2,982,005
機械装置及び運搬具（純額）	307,390	237,424
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産（純額）	8,047	47,599
その他（純額）	79,576	67,234
有形固定資産合計	6,329,431	6,164,363
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	394,070	352,247
投資不動産（純額）	1,043,499	1,013,519
繰延税金資産	8,500	7,750
その他	241,293	254,904
貸倒引当金	△8,184	△8,069
投資その他の資産合計	1,679,178	1,620,352
固定資産合計	8,047,484	7,831,097
繰延資産		
社債発行費	18,532	16,187
繰延資産合計	18,532	16,187
資産合計	12,469,071	12,431,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,606,609	1,500,464
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	525,656	500,656
リース債務	6,661	14,325
未払法人税等	18,655	116,326
賞与引当金	219,555	111,518
その他	305,137	488,413
流動負債合計	2,772,426	2,821,854
固定負債		
社債	702,850	635,200
長期借入金	2,233,358	1,981,616
リース債務	4,264	49,455
退職給付引当金	344,709	349,298
役員退職慰労引当金	63,790	67,418
繰延税金負債	1,544	2,374
再評価に係る繰延税金負債	24,355	21,332
その他	11,160	55,760
固定負債合計	3,386,033	3,162,455
負債合計	6,158,460	5,984,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,168,210	5,302,331
自己株式	△582,552	△582,552
株主資本合計	7,146,473	7,280,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,446	△15,895
土地再評価差額金	△820,415	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△835,862	△833,288
純資産合計	6,310,611	6,447,306
負債純資産合計	12,469,071	12,431,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,305,313	13,009,455
売上原価	10,960,121	11,540,222
売上総利益	1,345,191	1,469,233
販売費及び一般管理費	1,033,548	985,950
営業利益	311,643	483,282
営業外収益		
受取利息	589	346
受取配当金	6,914	9,443
雑収入	11,774	8,904
営業外収益合計	19,278	18,694
営業外費用		
支払利息	36,899	59,216
貸倒引当金繰入額	2,721	—
その他	3,177	2,312
営業外費用合計	42,798	61,528
経常利益	288,122	440,448
特別利益		
退職給付制度終了益	—	5,084
特別利益合計	—	5,084
特別損失		
固定資産除却損	39,945	1,780
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,708	—
投資有価証券評価損	21,933	43,333
特別損失合計	81,587	45,114
税金等調整前四半期純利益	206,535	400,418
法人税、住民税及び事業税	6,107	106,295
法人税等調整額	91,483	91,951
法人税等合計	97,590	198,246
四半期純利益	108,944	202,171

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
四半期純利益	108,944	202,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,549	△449
土地再評価差額金	—	3,022
その他の包括利益合計	△10,549	2,573
四半期包括利益	98,395	204,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,395	204,745

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,148,610	817,260	316,849	10,054	12,292,775	12,537	12,305,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	745	1,722	—	—	2,467	449	2,917
計	11,149,356	818,982	316,849	10,054	12,295,243	12,987	12,308,230
セグメント利益又は損 失(△)	698,584	77,084	△225	6,002	781,444	2,060	783,505

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	781,444
「その他」の区分の利益	2,060
セグメント間取引消去	△2,917
全社費用(注)	△468,924
棚卸資産の調整額	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	311,643

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,873,347	881,091	217,120	25,970	12,997,529	11,925	13,009,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,168	1,477	—	90	2,736	15	2,751
計	11,874,515	882,568	217,120	26,060	13,000,266	11,941	13,012,207
セグメント利益又は損 失(△)	850,910	103,594	△11,762	△18,699	924,042	1,170	925,212

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	924,042
「その他」の区分の利益	1,170
セグメント間取引消去	△2,751
全社費用(注)	△439,139
棚卸資産の調整額	△39
四半期連結損益計算書の営業利益	483,282

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。